



主催：公益財団法人 東京市町村自治調査会(2022年度 調査研究結果発表シンポジウム)

避難・避難所運営のあり方

～多様な主体との連携～

日時 2022年 **7/20** 水 13:30～16:45 (受付開始12:30)

会場 府中市市民活動センター プラッツ バルトホール
東京都府中市宮町1-100 ル・シーニユ5階

手話通訳・要約筆記あり
参加無料

プログラム

13:30	主催者挨拶	石坂 丈一 (公財)東京市町村自治調査会 理事長(町田市長)	出演者
13:35	基調講演	多様な主体と連携した避難・避難所の対応 国崎 信江 株式会社 危機管理教育研究所 代表	
14:15	調査研究結果発表	多摩・島しょ地域自治体における避難・避難所のあり方に関する調査研究結果 目崎 紘 (公財)東京市町村自治調査会 企画調査部 調査課 研究員	国崎 信江
14:40	休憩		
14:55	パネルディスカッション	<p>第一部 避難・避難所における住民・他機関連携～自治体・支援団体の視点から～</p> <p>コーディネーター 国崎 信江 株式会社 危機管理教育研究所 代表</p> <p>パネリスト 7×2の衝撃～熊本地震の経験から～ 岩本 武継 益城町 危機管理課長</p> <p>当事者・地域住民とともに作る避難計画～インクルーシブ防災事業～ 村野 淳子 別府市 防災局 防災危機管理課 防災推進専門員</p> <p>命と活力と尊厳が守られる避難所運営の在り方 浦野 愛 認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード 常務理事</p> <p>第二部 避難・避難所運営のあり方についての意見交換</p>	 岩本 武継 村野 淳子 浦野 愛
16:45	閉会		浦野 愛

※新型コロナウイルス感染症の感染状況や登壇者の災害対応等により、やむを得ず中止となる場合があります。 ※マスク着用・手指消毒など、新型コロナウイルス感染症対策にご協力ください。

近年、令和元年東日本台風や南海トラフ地震での島しょ部における津波被害想定など、多摩・島しょ地域においても災害は身近なものとなっている中、災害時の避難・避難所運営のあり方は、度々起こる災害により、大きく変化しています。しかし、事前の備えから、発災時の対応、復旧・復興まで多岐にわたる業務がある中、人員不足をはじめとして行政だけでこれらの対応を行うのは困難な状況にあります。今回、「避難・避難所運営のあり方～多様な主体との連携～」をテーマとし、災害現場の実態や避難・避難所対応の取組、課題や今後の方向性などを提示することで、行政だけでなく住民やNPO団体、民間企業など様々な関係者ととも災害対応に当たることの必要性について理解してもらうことを目的としています。

出演者プロフィール



国崎 信江 (くにぎき のぶえ)

株式会社 危機管理教育研究所 代表
女性や生活者の視点で20年防災を研究し、かつ国内・海外の被災地で支援活動してきた経験から独自の視点で防災対策を提唱。内閣府「中央防災会議 防災対策実行会議 水害時の避難・応急対応検討ワーキンググループ」委員、東京都「震災復興検討会議」委員をはじめ国や自治体の防災関連の委員など、多くの組織の委員を歴任。「地震の準備帖一時間軸でわかる心得と知恵」(NHK出版)「マンション・地震に備えた暮らし方」(エイ出版社)など著書多数。

講演内容

実災害時の対応の困難さ、多様な主体との連携、防災担当以外の職員の巻き込み方など



岩本 武継 (いわもと たけつぐ)

益城町 危機管理課長
1989年に益城町役場入庁。2001年4月から2008年3月まで消防・防災を担当。2004年11月まで避難勧告を発令した同年9月の台風第18号接近に起因する土砂災害では、災害対応及び避難所運営等災害対策本部業務に従事。2016年4月に総務課防災係長を拝命後、4月14日、16日の熊本地震を経験。災害対策本部では、事務局次長として本部運営に従事。併せて情報整理班長、報道対応を担当。2017年の組織機構改革により危機管理課新設後、2020年4月から現職。

講演内容

熊本地震の被災経験、被災後の益城町の取組などをご紹介



村野 淳子 (むらの じゅんこ)

別府市 防災局 防災危機管理課 防災推進専門員
2003年の宮城県沖北部連続地震災害での活動支援をきっかけに全国の被災地で生活支援活動を実施。大分県社会福祉協議会専門員を経て2016年より現職に至り、災害時に「命と暮らしを守る」ための障がい者等の支援や、日常の仕組みづくり「インクルーシブ防災」事業を、障がい当事者を中心とする市民団体とともに推進。「中央防災会議 防災対策実行会議」委員をはじめ、国などの防災に関する委員を多数務めている。

講演内容

当事者・地域住民とともに個別避難計画を作成している別府市の取組をご紹介



浦野 愛 (うらの あい)

認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード 常務理事
阪神・淡路大震災では、朋朋大学の学生が設立した支援サークル「同朋大学ボランティアネットワーク」に所属し、被災者支援にあたる。レスキューストックヤードの設立と同時に事務局スタッフとなり、2004年度より事務局長、2009年度より常務理事を務める。災害時要配慮者への支援事業を中心に、地域防災・災害ボランティア等、各種講演会・講座講師、支援プログラムの企画・運営を行っている。内閣府「避難所の役割検討委員会」委員をはじめ国などの委員歴多数。社会福祉士。

講演内容

避難者が避難生活で活力と尊厳を失わないための支援の考え方とポイント

会場案内

府中市市民活動センタープラッツ バルトホール

東京都府中市宮町1-100 ル・シーニユ5階

京王線利用の場合 府中駅南口から徒歩1分(駅直結)

JR線利用の場合 南武線、武蔵野線
府中本町駅から徒歩10分

駐車場(有料)
駐輪場(有料)



参加申込方法

WEB <https://nws.stage.ac/tama100kenkyu/>

FAX 「参加申込用紙」にご記入の上、下記事務局まで。

郵送 「参加申込用紙」と同じ項目をご記入の上、下記事務局まで。



申込締切
7月8日(金)必着
先着40名
※当日参加不可

■先着順に「参加証」をお送りします(申込み後、1週間程度で発送)。 ■多摩・島しょ地域自治体職員の方は、各自治体研修担当を通じてお申込みください。

■当日、受付にて「参加証」をご提示の上、ご入場ください。 ■複数名でのお申込の場合は、参加申込用紙をコピー等でご対応ください。

※ご記入いただいた個人情報は適切に管理し、参加可否を通知するための連絡先情報及びご本人確認のための情報として利用させていただきます。

※ご本人の同意なしにその他の目的で利用・提供はいたしません。

※万が一新型コロナウイルス感染症の感染者が発生した場合など、必要に応じて保健所等の公的機関へ提出させていただく場合があります。

参加申込用紙

*下記の項目についてご記入ください。*印は記入必須項目です。

お名前(ふりがな) *	住所 * 〒	TEL *
		FAX
		E-mail

パネルディスカッション登壇者に質問したいことなどをご記入ください。
※当日登壇者より回答させていただきますが、時間の都合によりお答えできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
※新型コロナウイルス感染症対策のため、シンポジウム当日の質疑は予定しておりません。

参加申込・お問合せ

2022年度調査研究結果発表シンポジウム事務局 (株式会社ステージ内 10:00～18:00 土日・祝日を除く)
〒108-0022 東京都港区海岸3-5-1 TEL:03-5966-5784 FAX:03-3455-1710 E-mail:tama100kenkyu@stage.ac